

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2024年7月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

震源のプロット

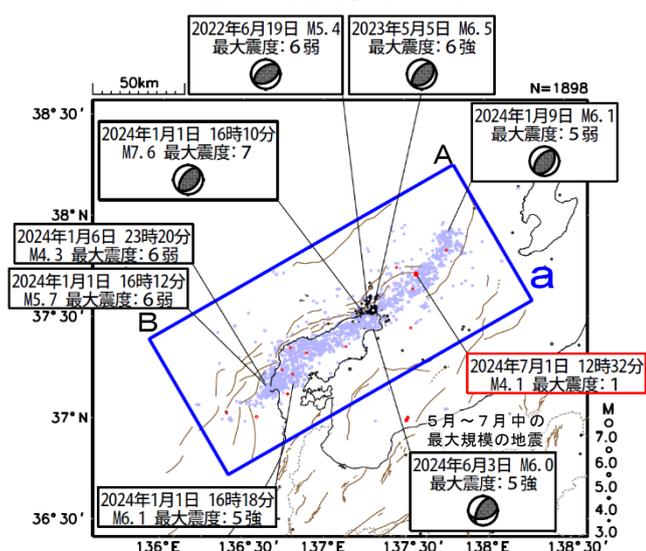
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～6月30日

赤色 2024年7月1日～31日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び7月中の最大規模の地震

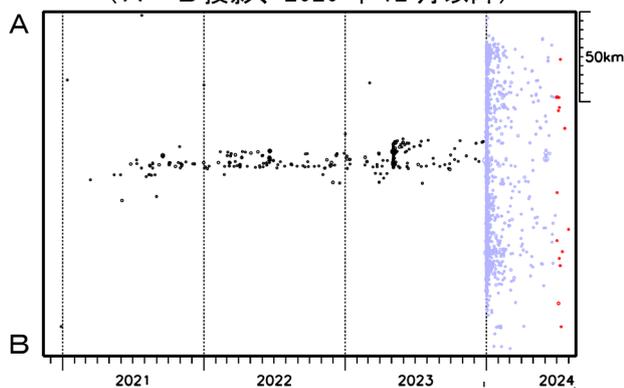
図中の発震機構はCMT解



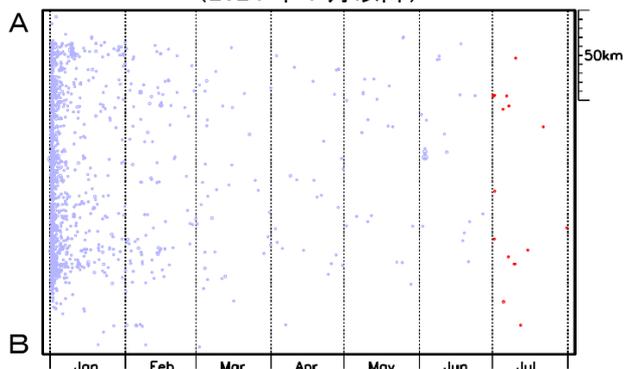
図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

領域a内の時空間分布図

(A-B投影、2020年12月以降)

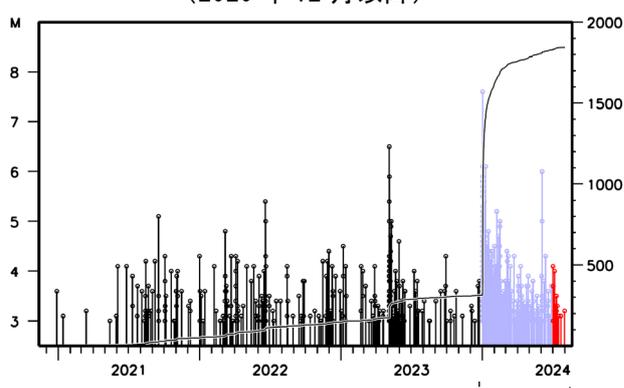


(2024年1月以降)

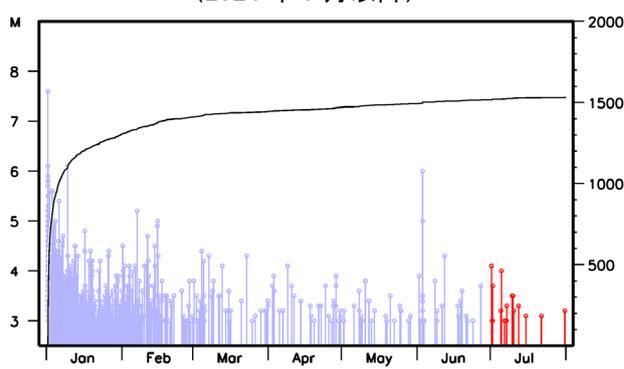


領域a内のM-T図及び回数積算図

(2020年12月以降)



(2024年1月以降)

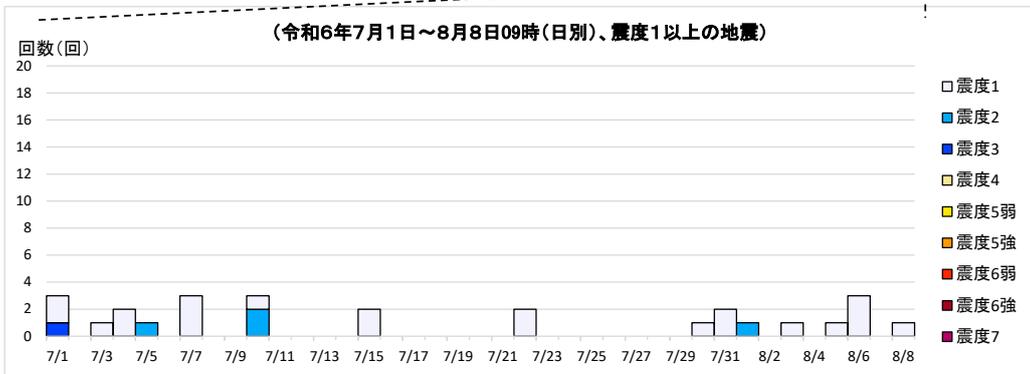
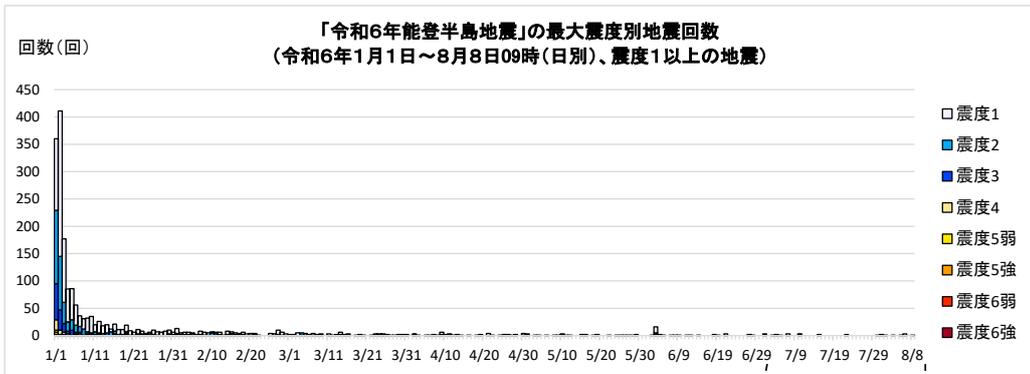


能登半島では2020年12月から地震活動が活発になっており、2023年5月5日には $M6.5$ の地震（最大震度6強）が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

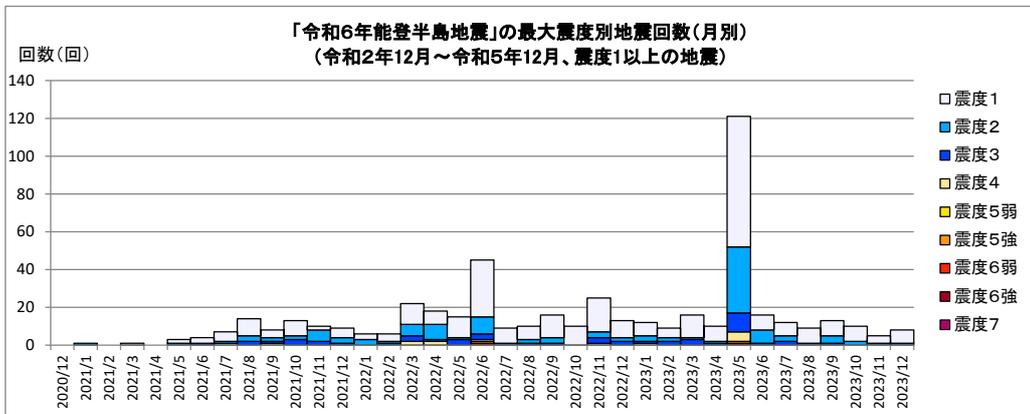
2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmで $M7.6$ （最大震度7）の地震が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東-南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

2024年5月から7月中の最大規模の地震は、6月3日06時31分に石川県能登地方の深さ14kmで発生した $M6.0$ の地震（最大震度5強）である。この地震により長周期地震動階級2を観測した。この地震の発震機構（CMT解）は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、重傷1人などの被害が生じた（2024年6月6日09時30分現在、石川県による）。

地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少してきているが、震度1以上を観測した地震が、5月中に28回、6月中に35回、7月中に20回発生するなど活発な状態が続いている。



【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	0	195	265	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	0	241	506	2023/6/1～ 12/31の震度1 以上を観測した 回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	0	506	506	

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064		
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208		
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278		
2024/4/1 - 30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323		
2024/5/1 - 31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351		
2024/6/1 - 30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386		
2024/7/1 - 31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406		
2024/8/1 - 8	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2413	8月8日09時時点	
総計(2020/12/1～2024/8/8)	1506	589	232	62	8	11	3	1	1	2413	2413		

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。